関西自然保護機構会誌 *23*（2）：*213－214, 2001*

近畿地方から絶滅した植物　10

村　田　　源

Extinct plants from Kinki District, Japan. 10.　Gen Murata

ハマムギ *Elymus dahuricus* Turcz. ex Griseb.（長田，1989）は北海道，本州，九州の海岸砂地に生える多年草であるが，海外の分布を見ると朝鮮，シベリア東部，中国，モンゴール，チベット，インド西北部，トルコ東部にまで分布している（中国植物志，1987）。学名のタイプになった標本はバイカル湖東部で採集されたもの（長田，1989）であるから，日本では北海道，本州，北九州の海岸砂地にだけ，草や木が茂らないため遺存していると考えた方が良さそうである。

高さ1m内外にまで達する直立した草本で茎も葉も無毛である。花穂は直立し，長さ8～16 cm，2個づつ対をなして小穂がすき間なく並んでいて緑色である。

近畿地方では兵庫県北部の浜坂町付近の海岸にだけわずかに生き残っていることが知られていた（藤本，1994 b，レッドデータブック近畿，1995）。ところが1990年頃からそこでも見られなくなった（藤本，1994）。おそらく浜坂海岸付近の海水浴場の開発や港湾整備に関連した工事等によるものと思われる。近い所では鳥取砂丘にはまだ残っているという（藤本，1995 b）。

海岸砂地に比較的多い（それでも昭和の中頃以前に比べるとずっと少なくなった）ハマニンニクは砂中に地下茎を伸ばすが，ハマムギはそうした特性を持たない点でも，同じような生育地での生活力はハマニンニクに劣ると思われる。北海道や本州中部の内陸の林縁草地には，葉鞘や茎の節の

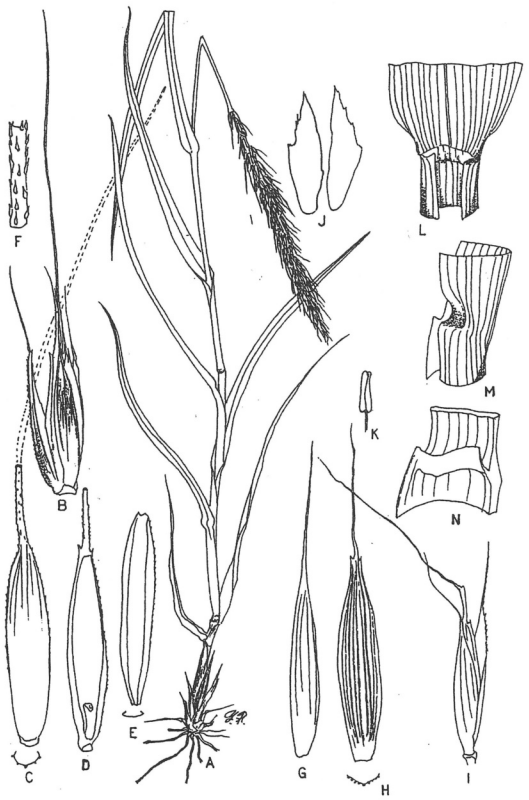


図1． ハマムギ *Elymus dahuricus* Turcz.
兵庫県美方郡浜坂町浜坂海岸 1986 藤本義昭採集標本（藤本 No. 73463）から描かれたスケッチ．A 全形．B 小穂．C 小花の背面．D 小花の腹面．E 内頴．F 小花の芒の一部．G 第1苞頴．H 第2苞頴．I 小花．J 鱗皮．K おしべ．L 小舌部（正面）．M 小舌部（側面）．N 小舌部の拡大（藤本義昭）．

部分に毛の多いヤマムギ *Elymus dahuricus* var. *villosulus* (Ohwi) Ohwi として，ハマムギと変種関係に分類されている植物がある。これも比較的希な植物で現在環境省の絶滅危惧植物のリストには入っていないが，保護の対称として考える必要があると思う。かつて尾瀬で新種と考えられたオゼムギ *Elymus osensis* Ohwi も今日ではヤマムギであると認識されている（大井，1953)。

タカネエゾムギ *Elymus yubaridakensis* (Honda) Ohwi は北海道夕張岳だけにわずかに残っていると考えられる植物で，これは絶滅危惧1A類（CR）に指定されている。(環境庁，2000)。かつては蛇紋岩地に特殊化した新しい種という考え方が多かったが，私は属全体のメンバーの体制や分布から考えて，むしろ未分化の古い形質をもたものが，特殊な立地環境によって絶滅から守られて生き残っていると考える。従ってハマムギはアジア大陸から日本にまで分布を拡げてきたというよりも，日本に生き残った個体群から進化しつつ大陸に拡がって行ったという歴史を反映しているものと考えたい。

兵庫県のイネ科植物を勢力的に調査された藤本義昭氏の好意によって，同氏が1986年浜坂海岸で採集された標本から描かれたハマムギの図をお借りすることが出来た。ここに感謝の意を表したい。

引用文献

大井次三郎. 1953. 日本植物誌. 至文堂，東京.

郭本兆. 1987. 中国植物志，9(3) : 11.

環境庁（編). 2000. 改訂日本の絶滅のおそれのある野生生物　植物I（維管植物). (財）自然環境研究センター. 東京.

長田武正. 1989. 日本イネ科植物図譜，420－421. 平凡社，東京.

藤本義昭. 1994. 兵庫県イネ科植物図録. 兵庫の植物，4 : 33－42.

——. 1995 a. 兵庫県希産イネ科植物. 兵庫の植物，5 : 6.

——. 1995 b. 兵庫県イネ科植物誌，108－109. 藤本植物研究所，神戸.